



広報 常陸大宮

2016
11
No.146

主な内容

- P2～3 12月3日～9日は「障害者週間」です
- P4～5 家庭でも簡単にできる水道の凍結対策
- P6～13 まちのできごと
- P14～15 第4回スナッグゴルフ大会
- P17 市史編さんだより vol.3

12月3日～9日は「障害者週間」です

12月3日（国際障害者デー）から9日（障害者の日）の1週間は「障害者週間」です。国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会・経済・文化など、あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。

本市には、何らかの障がいがある方が約2千人います。障がいについての理解を深め、人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」をつくっていきましょう。

障がいの種類

身体障がい

視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由や、心臓・じん臓・呼吸器などの内部機能障がいがあり、「身体障害者手帳」が交付されます。

知的障がい

先天的に理解力や判断力が弱かったり、人や環境になじみにくかったりして生活に支障があり、「療育手帳」が交付されます。

精神障がい

統合失調症やうつ病など精神の病気により、長期にわたって日常・社会生活に支障があり、「精神障害者保健福祉手帳」が交付されます。



障がい者の福祉制度

障がい者に対する制度には、次のようなものがあります。ここで紹介しているものは一部です。所得や障がいの程度・種類などによって、対象とならない場合もあります。詳しい対象要件や事業内容は、お問い合わせください。

事業名	内容	条件	窓口
税の減免	・市県民税、所得税、相続税などの障害者控除 ・自動車税、自動車取得税の減免	要件に当てはまる身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者	税務徴収課・太田税務署・常陸太田県税事務所 *税によって異なります
補装具の交付・修理	補装具（義手・義足・装具・車椅子・補聴器等）の交付・修理にかかる費用の一部を支給	身体障害者手帳所持者または難病患者等で、判定の結果、補装具が必要と認められた方	・福祉課 ・各総合支所市民福祉課
日常生活用具の給付・貸与	障がいに応じた日常生活用具（ストマ用装具・特殊寝台・入浴補助用具等）を給付・貸与	要件に当てはまる身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳等の所持者	・福祉課 ・各総合支所市民福祉課
NHK受信料の減免	世帯の所得状況や障がいの程度に応じて、受信料を半額、または全額免除	・半額免除：視覚・聴覚、または重度の障がい者が世帯主の場合 ・全額免除：障がい者がいる世帯で世帯構成員全員が市民税非課税の場合	・福祉課 ・各総合支所市民福祉課

事業名	内容	条件	窓口
いばらき身障者等用駐車場利用証制度	障がい者や難病患者の方などが、身障者等用駐車場を利用しやすくするための利用証を発行	要件にあてはまる障がい者（児）・高齢者・難病患者・妊産婦等で、かつ歩行困難な方	・福祉課 ・各総合支所市民福祉課
有料道路通行料金割引	身体障害者手帳や療育手帳所持者の有料道路の通行料金を割引（障がい者一人につき事前に車を1台登録）	・第1種身体障害者、第1種知的障害者：障がい者本人が運転、または同乗する場合 ・第2種身体障害者：障がい者本人が運転する場合	・福祉課 ・各総合支所市民福祉課
各交通機関の料金の割引	JR旅客運賃・路線バス運賃・タクシー料金・航空運賃・大洗カーフェリー等の各交通機関の料金を割引	身体障害者手帳、療育手帳所持者（割引の利用方法等については各事業者へ問い合わせください）	各事業者
医療福祉制度（マル福制度）	病院などで診療を受けた時に支払う医療費の自己負担分を助成	身体障害者手帳1・2級及び内部障がい3級または療育手帳①・Aの所持者、障害年金1級受給者	・医療保険課 ・各総合支所市民福祉課
障害基礎年金	国民年金加入中や20歳前の病気・けがにより、法律に定める障がいの状態になった時に支給	国民年金の納付要件を満たしている方、または20歳以前から障がいのある方で、障がいの程度が法律に定める状態の方	・医療保険課 ・各総合支所市民福祉課
各種手当	特別障害者手当・特別児童扶養手当・障害児福祉手当・在宅心身障害児福祉手当	要件に当てはまる身体障害者手帳、療育手帳所持者（対象となる障がいの程度は問い合わせください）	・福祉課 ・各総合支所市民福祉課
日常生活を支援するサービス	・障害福祉サービス（居宅介護、短期入所、就労移行支援等） ・障害児通所支援サービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど） ・地域生活支援事業（訪問入浴、移動支援等）	要件に当てはまる身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者（サービスによっては事前に「障害福祉サービス受給者証」の交付が必要です）	・福祉課 ・各総合支所市民福祉課
日常生活の困りごとや障害福祉サービスの利用方法などについての相談を受けています	・社会福祉協議会美和支所（身体障がい、知的障がいの相談） 毎週月～金曜日【8:30～17:15】 ☎58-3818 ・メンタルサポートステーション きらり（精神障がいの相談） 毎週月～土曜日【10:30～17:15】 ☎0295-72-5881 ・身体障害者相談員・知的障害者相談員：連絡先は問い合わせください		

○「障害」の表記について○

心のバリアフリーを推進するために、「障害者」などの「害」の字の表記について、可能な限りひらがなで表記しました。

■問い合わせ■ 福祉課 社会福祉グループ ☎52-1111(内線133・134・135)
 各総合支所市民福祉課 山方 ☎57-2121 美和 ☎58-2111
 緒川 ☎56-2111 御前山 ☎55-2111

寒くなるこれからの季節

—家庭でも簡単にできる水道の凍結対策—

寒さが厳しくなってくると、水道管や水道メーターなどが凍結し、水が出なくなったり、破裂したりすることがあり、高い修理費用がかかる場合があります。そうしたことを未然に防ぐ防寒対策や、緊急時の対応についてご紹介します。ぜひ実践してみてください。

～凍結から水道管を守るために～

◆特に凍結しやすい場所

- ・風当たりの強い場所にある水道管やメーター
- ・北向きで日陰にある水道管やメーター
- ・むき出しになっている水道管
- ・家の外にある蛇口

◆こんな時は注意

- ・外気温が-4℃以下になった時
- ・旅行で家を留守にするなど、長期間水道を使用しない時

◆メーターボックス内を保温

メーターボックスの中に、水道メーターを保護するよう保温材（発泡スチロールや布切れなどをビニール袋に入れたもの）を詰めてください。

※検針の際に取り出しやすいように、小袋に分けて入れてください。



メーターボックス内を発泡スチロールや布などで保温

◆露出している水道管や蛇口を保温

水道管や蛇口に保温材や毛布などを巻き付け、水に濡れて凍らないように、その上から隙間なくビニールテープなどでしっかり巻いてください。

また、加温式（電熱式）凍結防止器を利用する方法もあります。

◆水を出しておく

翌朝強い冷え込みが予想される時は、前夜から箸の太さぐらいに水を少しずつ出しておくのも有効です。※出した分の水については、料金がかかりますので出し過ぎにはご注意ください。お風呂の浴槽などにためるようにして、有効活用しましょう。



ぬるま湯をゆっくりかけましょう

～凍結してしまったら～

◆ぬるま湯をかける

凍った部分にタオルや布をかぶせ、必ず「ぬるま湯」をゆっくりとかけて溶かしてください。熱湯をかけると、水道管が破裂する恐れがありますので、注意してください。

※蛇口を開けても水が出ない時は、蛇口を開けたままにせず、必ず閉めてください。

～破裂してしまったら～

◆市指定給水装置工事業者へ修理を依頼

水道管が破裂した時は、メーターボックス内の補助止水バルブを閉めて水を止めます。応急処置として破裂した部分に布かテープをしっかりと巻き、[市指定給水装置工事業者]に修理の依頼をしてください。

※指定の業者が分からない時は、水道課にお問い合わせるか、市ホームページで確認ください。

○問い合わせ○ 水道課 ☎52-0427

市ホームページで確認 ⇒ <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/page/page000158.html>

[くらし→上下水道→上水道→水道工事は指定給水装置工事業者へ]

修理の依頼は市指定業者へ

～水道料金が増えたら～

◆漏水していないかチェック！

冬は、凍結による水道管の破裂で漏水が発生しやすくなります。「いつもと同じように使っていたのに、急に水道料金が上がった」「いつも地面や壁が濡れている」という場合は、水道メーターをチェックしてみましょう。

◆漏水の調べ方

- ①家庭内の水道の蛇口を全部閉める。トイレや給湯器、散水栓などを使用していないことを確認。
- ②メーターボックス内の水道メーターのパイロット（上写真の丸いコマ）を確認。
- ③パイロットが少しでも回転している場合は漏水の可能性あります。

その時は、早めに「市指定給水装置工事業者」に修理を依頼してください。

◆漏水による水道料金の減免制度

地下漏水などについては、料金の一部を減免する制度があります。水道課までお問い合わせください。

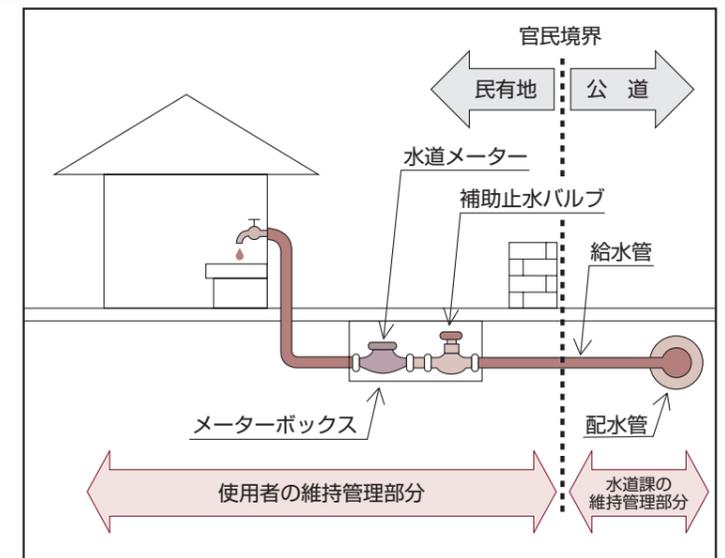
◆給水装置の修理は誰がするの？

道路に埋設している水道管（配水管）から分かれて、家庭まで引き込まれた給水管・止水栓・水道メーター・蛇口などの給水用具をまとめて「給水装置」といいます。これら給水装置は、水道メーターを除いて使用者（所有者）の財産となります。給水装置のうち公道部分については市で維持管理していますが、民有地の凍結による水道管破裂や老朽化による漏水などの修理費用は、使用者（所有者）の負担となります。（右図参照）

漏水は、大切な水を無駄にするだけでなく、家庭では思わぬ出費ともなりますので、日ごろから凍結防止や給水装置の点検に努めましょう。



漏水していないかパイロットを確認



—水は限りある資源です。大切に使いましょう—

■問い合わせ■ 水道課 総務グループ ☎52-0427

10/2

常陸大宮の食が大集合

本市の食を市内外にPRしようと、市文化センター前広場で「第6回B級グルメ選手権」が開催されました。

この日は爽やかに晴れわたり、約15,000人が来場し、人気のブースではお昼前に売り切れるほどの盛況でした。今年の結果は以下のとおりです。

- グランプリ 「大宮ねぎだれ牛カルビ焼」井川フーズ
 第二位 「大宮旨とろ・もつ煮込み」割烹せきね
 第三位 「大宮湯の沢もつ煮込」湯の沢鉱泉



▲入賞した皆さん、おめでとうございます

10/2

かわプラザでクリーン作戦

茨城県トラック協会水郡線支部の会員約30人が参加し、道の駅常陸大宮かわプラザの河原でごみ拾いを実施。また駐車場では、交通安全の啓発活動として、リーフレットやグッズの配布を行いました。

これは全日本トラック協会が、10月9日を「トラックの日」とし、都道府県トラック協会とともに毎年この日を中心に、全国で運送事業の役割や重要性をPRし、交通安全の啓発活動をはじめ、様々なイベント等や広報活動を実施しています。



▲参加したトラック協会水郡線支部の皆さん

10/8

いざという時のために ～いいこといっぱい体験隊～

御前山女性防火クラブと合同で、防災訓練を三山自然公園で行いました。この訓練は、いいこといっぱい体験隊（アイアイ体験隊）の活動と、御前山女性防火クラブの訓練を兼ねて行ったもので、西消防署職員にも協力してもらいました。

訓練では、消防署職員の指導のもと、水消火器を使っての消火訓練を全員で実施。思ったより消火器が重く、低学年の児童は消火器を地面に置いたまま的に放水しました。簡単そうなのでも、なかなか水が当たらず、子どもたちも消火の難しさを感じていた様子でした。

その後、薪を使って飯ごうと鍋でご飯を炊きました。飯ごうを知らない子どももいて、炊き方の説明では熱心に耳を傾ける場面も。その炊きあがったご飯は、女性防火クラブと協力しておにぎりにしました。熱々のご飯を握るのは大変でしたが、大小様々なおにぎりがたくさんできあがり、残り火を使って焼き芋も作りました。

訓練終了後のおにぎりとおにぎり、豚汁の試食はどれもおいしく、何度もおかわりをする子どももいました。参加者にとっても、今回の活動は貴重な経験となりました。



▲うまく的に当たるかな？



▲協力しておにぎりを作りました



▲女性防火クラブによる豚汁の炊き出し

9/1

集落の活性化を支援

市では、人口減少と高齢化の進む集落の維持・活性化を図るため、高齢化率が40%以上となっている30地区に、集落支援員を設置しています。今回、9月1日付けで委嘱された支援員の方々は右表のとおりです。

集落支援員は、地区を巡回し現状の把握を行い、行政などとのパイプ役となっていきます。

現在活動中の地区でも、引き続き地区の維持活性化に取り組んでいきます。また今回新たに設置した地区では、全世帯にアンケートを実施して地区の持つ課題などを抽出し、様々な活動を進めていきますので、皆様のご支援ご協力をお願いします。



▲これからの集落支援について話し合われました

＜委嘱された支援員の皆さん＞

地区	支援員	地区	支援員
高渡町	大賀 賢一	高 部	佐藤 勝 河野 種美
辰ノ口	野澤 徳昭		
西塩子 大宮照田	横山 正美 木村 義美	那 賀 小 玉	長山 文男 三村喜久男
北富田 諸 沢	小林 久 會沢 典子	大 岩 油 河 小 瀨 松 之 吉 丸 入 本 郷	田澤 佳治 桑名 輝美 小林 守
盛 金 久 隆 家 和	戸井田清美 小林 誠 小野瀬 誠	門 井	岸本 薫
		上伊勢畑 檜 山	瀧田 利男 國安 恵子
長 田 長 沢	海老根 裕 鈴木 栄	野 田 秋 田 中 居 金 井	古田土栄一 堀江 一郎 欠員
氷 之 沢 下 檜 沢	栗田 良則 豊島 美恵 青柳 文夫		

10/1

常陸大宮市のお宝を学ぼう ～第3回お宝発見事業～

第3回のお宝発見事業を実施しました。今回は28人が参加し、3年ぶりに公演された「西塩子の回り舞台」について学びました。

はじめに、歌舞伎の歴史や舞台の説明を聞き、公演の準備が進められている会場（大宮公民館塩田分館グラウンド）に向かいました。到着すると、「西塩子の回り舞台保存会」の大貫会長からあいさつがあり、その後、舞台の下にある舞台装置をみんなで回す体験をしました。

次に「いぼ結び」という、舞台の組み立てに使われている縄の結び方を体験。普段の生活ではあまり使わない結び方でしたが、保存会の指導を受け、竹を結んで組み上げる組み立ての様子を味わうことができました。

午後は、実際に使用する衣装を見学。さらに、白浪五人男と捕り手の衣装をそれぞれ5人が試着し、出演者になりきって見得を切るポーズを披露。

参加者は今回の体験で、多くの人の努力によって受け継がれている、すばらしい伝統芸能が本市にあることを知り、より故郷への理解と愛着を深めることができました。

○参加者の声

- ・想像していたより、舞台が大きくて驚いた
- ・組み立てを人の力でやっていることがすごいと思った
- ・昔の人は、みんなが笑顔になるために、大変な思いをしても歌舞伎やお芝居をやっていたのかな、と思った



▲力を合わせて回しました



▲実際の舞台上で説明を聞きました



▲見得を切るポーズも決まってる!?

10/16

市の歴史的財産を守る

佐竹十代義篤の子義躬よしみが築いたといわれる小場城の跡地（小場地内）で、除草作業が行われました。

これは、市の歴史的財産である城跡の整備・保全に地域をあげて取り組もうと、地元の有志で結成された小場城跡保存隊（寺門一夫隊長）20人が参加して、土塁や空堀内の除草、竹の伐採や樹木の枝切り等を実施。今回で3回目となる景観整備活動で、見通しの良い空堀跡に整備されました。



▲作業の様子と除草作業をした保存隊の皆さん

10/15

来場者50万人を達成

道の駅常陸大宮かわプラザの来場者が50万人を突破し、そのセレモニーが行われました。セレモニーでは入口でくす玉が割られ、三次市長から記念品が贈られました。

50万人目の来場者となったのは、吉岡さん親子（日立市）と藤田さん（市内）の2組。吉岡さん親子は「野菜が新鮮でおいしいので、何度もかわプラザに来ている。いただいた商品券は、さっそく買い物に使いたい」と笑顔で話していました。



▲お祝いのくす玉が割られました

10/4

人権擁護活動で表彰

市の人権擁護活動に多くの功績があったとして、木村孝吉さん（舟生）が法務大臣から表彰されました。木村さんは、平成16年から人権擁護委員として、人権相談や人権思想の啓発活動を積極的に行うなど、4期にわたり広く貢献されました。

また、諸澤好一郎さん（野口平）は、10月1日付で市人権擁護委員として、法務大臣から委嘱（再任）されました。諸澤さんは、平成25年に委員に就任、現在まで広く人権擁護活動に尽力されています。

なお新任の市人権擁護委員として、高村重彦さん（盛金）が法務大臣から委嘱されました。



▲表彰された木村孝吉さん（左から2番目）
再任された諸澤好一郎さん（右から2番目）

「じんけんフェスタin常陸大宮」開催

市では、12月4日～10日の人権週間にちなみ、すべての人権が尊重される心豊かな地域社会の実現をめざし、じんけんフェスタを開催します。

この機会に人権について考えてみませんか。

○日時 12月4日(日) 13時から

○場所 市文化センター小ホール

○内容

- ・人権書道や標語コンテストの表彰、発表
- ・人権作文の発表
- ・ライブ&トーク「音楽がつなぐ心」

出演：平島慎吾氏(本市出身のミュージシャン)と
バンド“Shingo Hirashima Group”
平島則子氏（市人権擁護委員）

入場無料
申込不要



人権イメージキャラクター
人KENまる君・人KENあゆみちゃん

10/16 市制施行記念×茨城県北芸術祭

市制施行記念日（10月16日）に合わせて、「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」とコラボレーションしたイベントを、道の駅常陸大宮かわプラザで開催しました。

秋晴れの下、音楽・アートなどの分野で活躍しているミュージシャンや芸術祭参加アーティストを招いたイベントには、朝早くからたくさんの来場者が集まりました。

イベントでは、本市出身ミュージシャン平島慎吾さんのバンド“Shingo Hirashima Group”のライブや、平島慎吾さんと



▲“Shingo Hirashima Group”のライブ



▲様々なアーティストが出演

塩谷良太さんによるトークショー、和田永さんの古い家電を電子楽器にしたパフォーマンスなどが披露され、会場は大盛り上がり。

最後は、常陸大宮大使でオカリナ奏者宗次郎さんのコンサートが開かれ、青空に響き渡る優しいオカリナの音色に、たくさんの来場者が聞き入っていました。



◀かわプラザでは記念のクッキーを添えたジェラートを販売

10/23

落合陽一のメディアアートを体験

茨城県北芸術祭の参加作家であり、“現代の魔術師”とも称されるメディアアーティスト落合陽一さんのワークショップが、旧美和中学校会場で開催されました。短い募集期間にもかかわらず県内外からたくさんの応募があり、大変人気のワークショップとなりました。

はじめは校庭の見学からスタートし、前半は落合さんの展示作品「幽体の囁き」、「コロイドディスプレイ」、「モナドロジー」を解説。後半はモナドロジーのメディア装置の簡単な講義を聞き、実際にモナドロジーを作成しました。

モナドロジー体験では、身近なものでメディア装

置を作ってみようというコンセプトで、自身のスマートフォンと体験キットを使用。落合さんと一緒に、五感で体感できる幻想的な空間を作り出しました。

モナドロジーは、真っ暗な部屋を埋めつくすしゃぼん玉に点滅する光を当てることで、しゃぼん玉の動きがまるでアニメーションのように見える空間を作り出すというもの。

大人も子どもも自分で装置を作るという貴重な体験に感動した様子で、「不思議な体験にワクワクした」、「また機会があれば参加したい」という声がありました。



▲まずは展示作品を解説



▲親子で参加する人も…



▲暗闇に幻想的な空間が出現

10/16 ごみのない清潔なまちづくり

市内道路の一斉クリーン作戦を実施しました。
 ごみのない清潔で住みよいまちづくりをめざして、各地区の環境保全推進委員長を中心に、地域住民など約9,800人が空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。
 この日は、可燃ごみ2,460kg、不燃ごみ1,480kg、その他粗大ごみが回収されました。参加された皆さん、ありがとうございました。

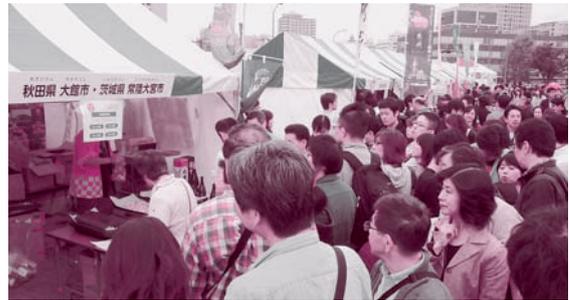


▲年々ごみの量は減ってきています

10/22・23

ふるさと納税をPR

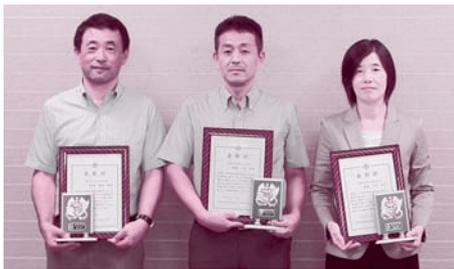
第2回ふるさと納税大感謝祭2016が横浜で開催され、友好都市である秋田県大館市と共同で参加しました。
 このイベントは、北海道から九州まで61自治体が参加し、ふるさと納税の返礼品を展示し、“ふるさと”をより身近に感じてもらうための催しです。
 本市では、地元産牛肉や地酒の試食・試飲を行い、9万人を超える来場者に市の魅力や特産品を紹介しました。今後も、ふるさと納税を積極的にPRしていきます。



▲ブースにはたくさんの人が訪れました

9/30 先生に教育長賞

市教育研究集会で、市内小中学校教諭による研究発表があり、3人に教育長賞が贈られました。



▲左から菊地先生、三村先生、石川先生

受賞者	分科会	研究内容
石川 玲子 (大賀小学校)	家庭、 技術・家庭	生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる家庭科学習指導の工夫 ～第6学年「C快適な衣服と住まい(1)衣服の着用と手入れ」の実践を通して～
三村 拓郎 (大宮小学校)	英語	外国語活動に意欲的に取り組もうとする児童の育成を目指して ～ゲーム的要素の活動を通して～
菊地 秀典 (大宮中学校)	教育課程	学力向上を目指した学校の組織力を生かした取組について ～確かな学力の定着を図る教育課程の工夫を通して～

善意をありがとう

順不同・敬称略

<奨学基金・善意銀行へ>



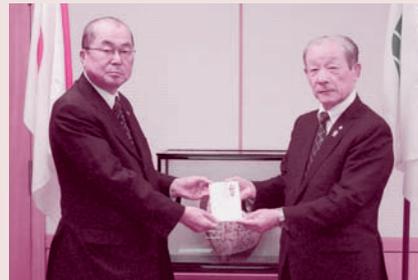
瑞穂農場 1,000,000円

<奨学基金へ>



ボンド商事 203,607円

<善意銀行へ>



J A常陸大宮地区組合員 117,778円

10/23

校歌で地域おこし ～ウダーベ音楽祭～



さきに開催された西塩子の回り舞台の会場で、市内小中学校の校歌を歌うウダーベ音楽祭2016が開催されました。本市が合併10周年を迎え、歌をとおしてお互いの地域を知り合おうというコンセプトでスタートしたイベントで、今年で3回目の開催となります。

この市民手作りの音楽祭は、2016年度グッドデザイン賞のグッドデザイン・ベスト100を受賞。開会式ではくす玉が割られ、西の内紙を使用した垂れ幕が下りると、会場全体が祝福の拍手に包まれました。

主催者あいさつでは、倉田稔之実行委員長が「この音楽祭は同窓の力を発揮する機会になる。常陸大宮の元気の源になってほしい」と話しました。

ステージは鷺子小学校校歌からスタート。歌う前に学校の特徴や思い出、校歌にまつわる話を披露。舞台には様々な年齢層の卒業生や当時の教員などが上がり、心を込めて歌いました。また、飛び入りで大賀小学校の校歌が披露される場面も。その母校愛にあたたかな声援が送られていました。



▲小瀬中学校



▲若林小学校



▲高部小学校

10/18

茨城県北「ひよっこ」推進協議会

県北が舞台となる連続テレビ小説「ひよっこ」の放映を通じて、地域の魅力を県内外へ発信し、知名度向上や観光誘客、産業振興などに繋げようと協議会が設立されました。協議会は日立市・常陸太田市・高萩市・北茨城市・常陸大宮市・大子町と観光協会等33団体で組織され、会長には三次真一郎市長が就任しました。

会長は「日本を代表するNHKの連続テレビ小説で県北がクローズアップされることは、住民が郷土への愛着をさらに深める大変良い機会になる。地域の魅力を全国にアピールしていくためには、ここに集まった皆さんの力を結集していくことが重要」と力強く話しました。今後、各機関連携のもと地域の魅力発信などに力を入れていきます。



▲協議会の県北6市町の首長など

☆ いっしょにまちづくり ☆

私はロゼホールで、コンサートなどの企画やアーティストの出演交渉などを行っています。



中瀬さとみさん

水郡線にSLが走った2013年、市まちづくりネットワークが企画した『水郡線SLにみんなで手を振っちゃおうプロジェクト』を大ホールで上映すること

になり、協力しました。音響や照明など舞台上の機器類を適切に使うため、事前に打ち合わせを行ったおかげで、上映会は素晴らしいものになりました。車椅子エリアが少ししかないところに、数十人の車椅子の人にどうやって見てもらうか話し合ったことは、今でも忘れられません。

2014年には「ウダーベ音楽祭」の実行委員に入り、冊子作りや当日の進行を担当しました。皆さんが、ステージで怪我をせず楽しく歌っていただけるよういろいろと提案しました。今年のグッドデザイン賞「ベスト100」を受賞したこの音楽祭に関わったことを、名誉に思います。今後も企画に協力すると同時に、どんどん提案していければと思っています。

10/15・16

貴重な文化財を公開

阿弥陀院（国長）・善徳寺（鷲子）・西塩子の回り舞台・歴史民俗資料館・文書館の5か所で、指定文化財集中曝涼が行われました。この催しは、常陸太田市で行っている文化財曝涼と共同で開催。普段は見ることのできない文化財を、虫干しを兼ねて一般公開し、市民の皆さんに文化財への理解を深めてもらうことを目的としています。今年は西塩子の回り舞台定期公演と重なり、晴天にも恵まれたことから、2日間で合計約5,300人を集めました。

阿弥陀院では、県指定の木造阿弥陀如来脇侍三尊像や十王図などを公開。一方、善徳寺では有髪の親鸞聖人座像などの公開に加え、河内城跡と江戸新五郎墓の両史跡案内も行われました。今年も、茨城大学生や市民によるボランティアの展示解説が好評を博していました。



▲阿弥陀院での展示の様子

10/22

回り舞台で民俗芸能を披露

前週の「西塩子の回り舞台第6回定期公演」の余韻が残る舞台会場で、県教育委員会による「茨城県郷土民俗芸能の集い」が開催されました。

今回で第40回となる伝統の催しには、潮来ばやし保存会（潮来市）、西金砂神社田楽舞保存会（常陸太田市）、古内大杉ばやし保存会（城里町）とともに、西塩子の子ども歌舞伎が出演。足の踏み場がないほどのおひねりと、拍手喝さいを浴びました。

本公演を見逃した方や、県北芸術祭の見学者なども多く、例年を上回る500人ほどが県内各地の貴重な民俗芸能をじっくり鑑賞。出演者も、仮設とは思えない西塩子の回り舞台のみごとさに驚き、舞台に立てたことを大変喜んでいました。



▲西塩子の子ども歌舞伎



潮来ばやし▶

10/23

御前山ダムで秋の一日を満喫

さわやかな秋晴れのもと、御前山ダム公園とダム湖周辺で「御前山ダム自然満喫体験2016」が開催されました。

この催しは、御前山ダム周辺の魅力を広く市内外にPRするとともに、歩く会や物づくり体験をとおして自然と触れ合うことを目的としていて、今年が初めての開催です。

約100人の参加者は、ダム湖周辺約5kmの歩く会コースを歩いた後、餅つき大会で作ったお餅で昼食。午後からは、それぞれに体験コーナーを楽しみ

ました。

竹細工コーナーでは、竹とんぼと竹編みのコースター作りを体験。編み込みに苦戦している参加者もいましたが、なんとか完成させることができました。また草木染コーナーでは、玉ねぎの皮を使った絞り染めを行い、風合いのある黄色のバンダナを制作。陶芸コーナーでは、御前山地域在住の陶芸家の指導のもと、お皿づくりに挑戦しました。

参加者した皆さんは、様々な体験を真剣に楽しんでいる様子でした。



▲開会式の様子



▲餅つき大会



▲竹細工コーナーで竹編み体験

スポーツ大会結果

第12回常陸大宮市ミックスダブルステニス大会

開催日：10月16日
主催：市テニス連盟（片野良平会長）
会場：西部総合公園テニスコート

優勝：加藤 康之・小林さおり
準優勝：金子佐久美・柴田 隆夫
第3位：会沢 幸洋・黒澤 圭子



▲入賞した皆さん

第24回秋季ソフトボール大会

開催日：9月25日、10月2日
主催：市ソフトボール連盟（神永哲男会長）
会場：西部総合公園多目的グラウンド他3会場
参加チーム：32チーム

優勝：桜台インパルス
準優勝：上村田ソフト
最優秀選手賞：稲田 樹（桜台インパルス）
優秀投手賞：宇野 拓実（桜台インパルス）
敢闘賞：柏 樹里杏（上村田ソフト）



▲優勝した桜台インパルス

第24回常陸大宮市民ゴルフ大会

開催日：10月27日
主催：市ゴルフ連盟（大瀧愛一郎会長）
会場：水戸グリーンカントリークラブ

優勝：五位 洸
準優勝：樋田 定夫
第3位：平根 栄一
第4位：木村 修
第5位：桧山 一郎

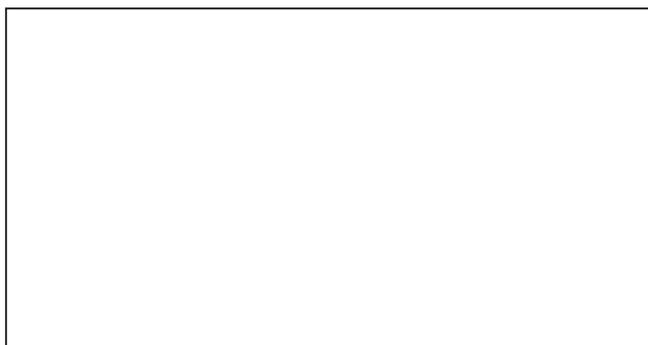
男子ベストクロス：渡辺 勝秀
女子ベストクロス：鈴木 才子



第12回常陸大宮市近郊軟式野球大会

開催日：10月23、30日
主催：市軟式野球連盟（塩澤實会長）
会場：大宮運動公園市民球場 他1会場
参加チーム：10チーム

優勝：常陸太田市消防本部
準優勝：不二クラブ
最優秀選手賞：大金 拓海（常陸太田市消防本部）
優秀選手賞：根本 拓磨（常陸太田市消防本部）
敢闘賞：本田 龍也（不二クラブ）



第4回常陸大宮市 スナッグゴルフ大会

10月23日、第4回常陸大宮市スナッグゴルフ大会（主催：市教育委員会）を、静ヒルズカントリークラブで開催しました。競技は低学年・高学年・一般の部の3つに分かれて行われ、絶好のプレー日和の中、参加者はそれぞれ腕前を競い合い、白熱したプレーを披露しました。



▲開会式の様子

大会結果

《低学年の部 5ホール》

優勝：熊谷凜太郎 18ストローク
 準優勝：佐久間貴大 18ストローク
 第3位：野上 和真 19ストローク
 ※同スコアの場合は年齢が低い方が上位



《高学年の部 8ホール》

優勝：小室 咲貴 24ストローク
 準優勝：見代 美咲 27ストローク
 第3位：坂井 花凜 28ストローク
 ※同スコアの場合は年齢が低い方が上位



《一般の部 8ホール》

優勝：長岡 義雄 21ストローク
 準優勝：佐久間貴徳 21ストローク
 第3位：長山 章 23ストローク
 ※同スコアの場合は年齢が高い方が上位



《個人賞》

アルバトロス賞：斎藤 勇（一般の部）
 ホールインワン賞：佐久間貴徳（一般の部）
 貝塚 優希（一般の部）



▲入賞した皆さん（左から低学年の部・高学年の部・一般の部）



大会開催にあたってご協力いただきありがとうございました。



大会の協賛をいただいた常陸大宮ライオンズクラブ

会長 平野 啓太郎 さん

若い選手の活躍が目を引くプロゴルフ界。先日行われた日本女子ゴルフオープントーナメントでは、笠間市出身の高校3年生畑岡奈紗選手が優勝し、高校生プロとしてデビューしました。彼女は小学生の時、スナッグゴルフでスイングを覚え、中学生になって本格的にゴルフを習い始めたそうです。

常陸大宮市では、4年ほど前から教育委員会が主催の小学生をメインとしたスナッグゴルフ大会を開催しています。また夏には、日本ゴルフツアー機構主催のスナッグゴルフ全国大会が毎年開催され、各小学校の選手たちは出場を目指して練習しているようです。何とか家族の方も一緒になって、やる気になっている子供達のために練習時間や場所の確保等の面で一肌脱いでもらいたいと思います。大宮小学校の子供達は、地元の那珂C様のご協力を得て練習をさせてもらっていますが、全国大会上位入賞校は、皆、地元のゴルフ場の協力をいただいているようです。

いろいろな可能性を持っている子供達の進む道の一つとしてゴルフというスポーツがあるならば、何とか叶えてあげたい、そのためには何をすれば良いか、教育に携わる方々、保護者の皆様、そして我々ライオンズクラブのメンバーも含め、子供達のため、地元大宮のため、知恵を出し合いたいと思います。大宮小学校以外でも、スナッグゴルフをやりたい子供達には、学区の垣根を越えて応援していきたい…そう思っています。



会場を提供していただいた静ヒルズカントリークラブ

支配人 菊池 武彦 さん

第4回常陸大宮市スナッグゴルフ大会の開催、誠にありがとうございます。

市民の皆様の交流と健康増進を目的としたこの素晴らしい取り組みに、開催コースとして携われたこと、大変誇りに感じております。

今回で4回目となるこの大会は、年々参加者も増え、高いスコアも出ており、参加者の皆様のととても楽しそうな笑顔が印象的な素晴らしい大会でした。

今後もこの大会をはじめ、常陸大宮市や市民の皆様との交流の場としてご協力させていただければと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



海外通信 from マラウイ No.6



昨年1月に、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイに派遣された小河原香織さん（市内野上出身）から、最後のお便りが届きました。

「君たちへ」

小河原 香織



トライすることの怖さ。これはこの文章を書き始めた時のタイトルです。

青年海外協力隊として活動することを決めた時、私は2つの応援をもらいました。

1つ目は、「なぜ今、アフリカに行く必要があるのか」任地であるシャープバレに1人で生活するようになり、家に石を投げ入れられた時、この質問は私にとって、とても重要なものになりました。この問いかけは、「日本にいる時には、直に接することはなかった差を受け入れた上で、ここで無事に生活を続けていくには、どうしたらいいのか」を真剣に考えるきっかけとなったからです。

2つ目は、「いい選択をしたね。いってらっしゃい」という言葉。TDC（教師研修センター）の人々に出会った時、彼らの存在を知るために私はここに来ただと素直に思えたから。

この文章を書くにあたって、私はひどく悩みました。自分の文章を書く力が乏しいのは、誰よりもわかっていたからです。

これまでずっと、この文章はアフリカで活動することを見送ってくれた子たちに向けて書いてきました。その中の1人は、別れの日一度帰路について再び引き返し、別れの言葉を告げに戻ってきてくれました。その言葉は、聞いているこちらが恥ずかしくなるくらい純粋なものでした。しかし私は、彼女から目を背けることができませんでした。なぜなら、彼女はとても真剣に信頼を寄せてきていたから。

今私は、彼らに気軽に何かを試してみろとは言えません。物事は必ず、表裏一体だと思うから。ここに来るきっかけとなった本については以前、君たちに伝えたことがあります。

最後にマラウイで探究している中で出会った言葉を紹介して、あなた方へのこの手紙を終わりにしようと思います。

「知ることの深さは愛することへの道」

私は何も知らなかったことに気がつき、忘れられない経験を得ました。

VOL.29

職員のつぶやき ～職員リレートーク～

子育て支援室の鈴木佑衣です。冬が近づき、朝起きるのが辛い時期になってきましたが、毎朝大貫さんと一緒に元気に職場へ向かっています。

私の担当は、児童手当や出産祝い金など子育てに關する業務が主なものです。採用から半年が過ぎて職場環境や仕事にも慣れ、担当以外の業務にも積極的に取り組んでいます。業務の幅が広がり、覚えることがたくさんありますが、優しく面白い上司や先輩方がいるので、毎日楽しく仕事をしています。

これから仕事をしていく中で様々な困難にぶつかるかもしれませんが、笑顔で絶やさず業務に励んでいきたいと思っています。



▲鈴木さん(左)、大貫さん(右)

福祉課の大貫真利江です。配属から半年が過ぎましたが、業務内容やお客様への対応など、先輩方の姿を見ながら勉強する毎日です。

最近感じるのは、人と関わる仕事の楽しさと難しさです。窓口には様々なお客様が来ます。市役所職員になる前は考えられなかった多くの出会いの中で、どのような言葉でどのように話すのがわかりやすいのか、よりよい説明の仕方を考えつつ、日々業務に取り組んでいます。

お客様からの「ありがとう」の言葉を大切に、これからも励んでいきたいと思っています。

○第2回市史編さん委員会が開かれました

9月26日、第2回常陸大宮市史編さん委員会が開催されました。委員会では、本市の特徴や特筆すべき歴史について6つの部会がそれぞれ報告。その後、全体の共通テーマを検討するための話し合いが行われました。特に、河川や山林などを利用した文化・産業や周辺地域との関係性について、多くの議論が交わされました。

また市史編さん事業をアピールするため、市の歴史を題材にした講演会や動植物の観察会など、子どもからお年寄りまで参加できるような事業を実施してはどうかという提案もありました。具体的にどのような事業を開催するかは、来年以降のお楽しみです。市民の皆さんにも市史編さん事業に参加してもらい、多くの方に親しまれる「常陸大宮市史」をめざします。

○今後の市史編さんだより

今回で第3回を迎えた「市史編さんだより」。次回からは、市史編さんの中心となる各部会長が、自己紹介を兼ねた一文を書く予定です。“常陸大宮市”の知られざる一面を紹介してもらえるかもしれません。

また前回掲載した、身のまわりや地域にある歴史や文化について、引き続き情報の提供をお願いします。古くから伝わる言い伝えや古文書など、心当りがある方は下記までご連絡ください。よろしくお願いします。

部会	部会長	所属
考古	鈴木 素行	日本考古学協会
古代・中世史	高橋 修	茨城大学
近世史	添田 仁	茨城大学
近現代史	佐々木 啓	茨城大学
民俗	大津 忠男	茨城県立歴史館
自然	桐原 幸一	茨城生物の会

▲市史編さん委員会各部会長一覧

■問い合わせ■ 歴史文化振興室 ☎52 - 1450

地域おこし協力隊

No.7

がゆく

地域おこし協力隊の岩崎です。

私は、3年に1度開催の伝統行事「西塩子の回り舞台」に、8月末からガイド資料の制作として関わりました。この行事は、舞台を作る過程を含め約2か月間楽しむことができます。

公演前の10月9日には、回り舞台見学ツアーが行われました。舞台の見学の後、自分が作成した資料をもとに、緒川総合センターで回り舞台の特徴などを解説しました。



▲回り舞台の特徴を参加者に解説

また10月15日の本公演でも、会場内を回りながら解説を行いました。本公演の来場者は約5,000人でしたが、公演翌日も多くの見学者が来ていて、皆さん熱心に見学していました。

私は、ここにしかない魅力たっぷりのこの舞台を、県内外を問わず多くの方に知って欲しいと思いました。そのためにも、情報発信担当として情報を工夫して発信していく必要があるのではないかと強く感じました。

地域おこし協力隊HP「ごじゃっぺライフ」へ

GO ➡  

健康通信

常陸大宮済生会病院

小児科部長
伊東 岳峰 先生

子どものインフルエンザ

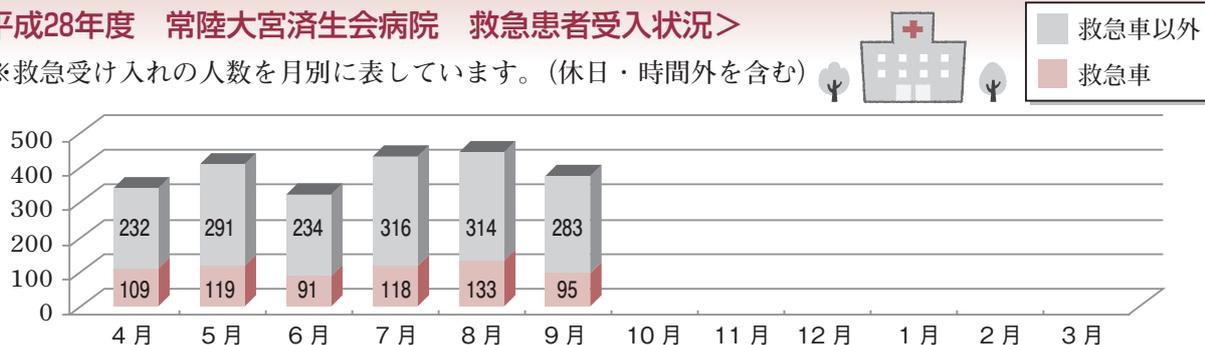
毎年冬になると話題になるインフルエンザ。流行期や子どもがかかってしまった時に、慌てずに対応しましょう。



症状	突然の高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛などで発症。その後、鼻汁や咳を伴います。多くは4～5日で熱が下がりますが、二峰性の発熱（熱が下がって落ち着いたと思ったら再発熱）を示すこともあります。異常行動などのリスクがあるので、 発症後2日間は十分な観察が必要（一人きりにさせない） です。意味不明の行動などがあれば、早めに医療機関へご相談ください。
合併症	肺炎・中耳炎・熱性けいれん・脳症・筋炎など。 インフルエンザ後の細菌感染（二次感染）⇒抗生物質が必要。
診断	経過・症状・流行などから総合的に診断します。 インフルエンザ迅速キットも有用ですが、ある程度ウイルスが増殖しないと正確に判定できません。また、苦痛を伴う検査なので、 発熱してすぐの検査は勧めていません。「発熱後12～48時間」のタイミングで検査すると良いです。
治療	① 抗インフルエンザ薬 内服薬（タミフル：1歳～）、吸入薬（リレンザ：5歳～、イナビル：吸入可能かつ1歳～）、点滴薬（ラピアクタ）など。漢方（麻黄湯）が有効な場合もあります。すでに増えたウイルスは自分の防衛能力で抑え込むしかないので、これがうまくいくかで解熱時期が違います。ただし、これらの薬は ウイルスを直接攻撃するのではなく、「これ以上増えないようにする」 ものです。⇒つまりウイルスが増え過ぎると効果が下がるため、 発症後2日以内に薬を使用することが重要 です。 ② 対症療法（解熱鎮痛薬、去痰薬など） 使用可能な解熱鎮痛薬は、アセトアミノフェン（カロナール、アンヒバ坐剤など）のみで、その他の解熱鎮痛薬は、脳症などのリスクがあるため使いません。 ③ 安静、水分補給 こまめな水分摂取が重要。無理に食べさせる必要はありませんが、水・お茶だけでは、糖やイオンの補給が不十分なので、経口イオン水がおすすめです。
予防	ワクチンが基本 。有効率は高くないが、軽症化が期待できます。ただし、周りのワクチン接種やマスク使用、手洗い・うがいの励行、部屋の乾燥予防、流行期の人混みの回避、規則正しい生活、十分な栄養も含めて予防であることをご認識ください。

<平成28年度 常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況>

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）



常陸大宮市 文書館だより

～明治・昭和の合併と山方町～

◇山方町の合併をたどる

平成の合併前の山方町は、昭和30年に5か村が合併して誕生した町です。まず2月11日に諸富野村、続いて3月31日に世喜村の一部と下小川村の一部、さらに7月30日に塩田村の一部が合併しました。同年4月には山方町役場の新庁舎が落成しました。祝賀会には400人近くが招かれ、歌舞伎や集落ごとの仮装、児童による旗行列、花火の打ち上げ（3寸玉55発）など、趣向を凝らした余興が行われ、華々しい出発を遂げたのでした。



▲昭和30年に建てられた山方町役場庁舎(現況)
(昭和51年改築、現在は山方総合支所)

本号では、昭和の合併で5か村合併した山方町(昭和22年以前は山方村)について、合併の経緯をご紹介します。

◇明治の合併と町制施行

明治22年(1889)に施行された市制・町村制により、江戸時代以来の山方村・野上村・舟生村の3か村が合併し、山方村が誕生しました。

3か村は水戸と奥州を結ぶ南郷道沿いに、北から舟生村、山方村、野上村と隣接していました。なかでも山方村は南郷道の宿場として、また、領内を南北に流れる久慈川水運で栄え、戸数は文化4年(1807)頃に256戸で、野上村の96戸、舟生村の91戸と比較してもかなりの大村だったことがわかります。舟生村は正保年間(1644-1648)以後に、山方村から分かれて一村となった(『新編常陸国誌』)もので、もともと関係の深い村同士でした。

明治6年以後、大区小区制のもとでは3か村ともに第四大区七小区に属し、同16年に山方村ほか2か村連合、17年からは山方村・野上村・舟生村・長田村・長沢村の5か村連合となり、連合戸長役場がおかれました。

明治22年の合併に際しては、市制・町村制が公布された明治21年の9月に郡ごとの会合が持たれ、那珂郡は菅谷高等小学校に各村の戸長及び村総代が集められました。この時、野上村からは木村清左衛

門、山方村からは清水松次郎、舟生村からは木村宗八郎が出席し、最終的には郡長の裁定により、3か村の合併が決定しました。明治初年の大区小区制や続く連合戸長制のもとで、長くかかわりのあった3か村の合併は、特に混乱もなく進められたようです。

合併後の山方村は、村長関昌雄、助役根本勇之介、収入役木村宗八郎の顔ぶれでスタートし、村役場を現在の山方総合支所の場所に構えました。明治41年には人口2,933人・634戸、大正8年には4,143人・700戸を数えました。



▲昭和22年頃の宿通り(下町から北方向)

戦後、人口が5,800人となった昭和22年には、町制が敷かれて山方町となりました。那珂郡内では大宮町(明治22年町制施行)、瓜連町(昭和9年)、菅谷町(昭和17年)に次ぐ4番目の町の誕生でした。このとき県知事に提出した理由書には、山方宿は、水戸・大子間のみならず烏山、太田への交通の要衝であり、水郡線による貨物・旅客運送の拠点でもあること、これに伴い市街地のにぎわいも増してきているとして、「大宮町には多少遜色あるも瓜連、菅谷等に比較しては、はるかに町としての資質を有する」と誇らしげに記されています。



▲町制施行、庁舎新築祝賀関係文書

【参考文献】 塙泉嶺『那珂郡郷土史』宗教新聞社 大正12年、茨城県総務部地方課編『茨城県市町村合併史』昭和33年、『山方町誌 下巻』昭和57年

文書館 ☎52-0571

環境インフォメーション



注意!! 不法投棄の被害は身近にあるかもしれません

私有地にも不法投棄対策を

道路のポイ捨てやごみ集積所に回収できないものを置くなど、不法投棄は様々な場所で発生しています。これらを見ても、「自分には関係ない」と考える人がいるかもしれません。しかし、不法投棄は人目に付きにくい場所や、手入れが行き届いていない土地が狙われるケースもあります。

また、不法投棄された場合、投棄者が判明しなければ土地所有者にも責任が及ぶため、決して安心はできません。投棄され処理に困る前に、定期的な見回り、侵入防止柵や警告看板などを設置し、不法投棄を未然に防止できるよう心がけましょう。



不法投棄を見つけたら

不法投棄を見つけたら、市役所・大宮警察署または地元環境保全推進委員長（副区長）へ通報をお願いします。また、不法投棄110番という通報先もありますのでご活用ください。

通報の際に提供してほしい情報（分かる範囲で）

- ・発見された日時、場所
- ・投棄されている物とその量
- ・投棄者につながる情報（車の情報など）

<不法投棄110番 ☎0120-536-380>

※トラブルに巻き込まれる恐れがあるため、写真撮影や投棄者への声掛けは絶対にしないでください。

夏の節電対策の効果は？ 緑のカーテンコンテストを実施

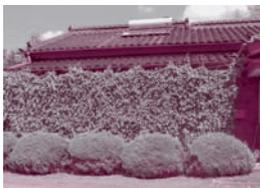
市環境市民会議では、市民の皆さんが育てた緑のカーテンのコンテストを実施しました。

「緑のカーテン」とは、建物の側面のネットにアサガオやゴーヤなどつる性の植物を栽培して、直射日光をさえぎり、日陰を作ることです。また葉の水分が蒸発することで、建物内の温度上昇を抑えエアコン等の使用を減らし、節電対策になる環境にやさしい取組みのひとつです。

今年度は、一般部門10点の中から4点が入賞し、市内小・中学校8校も参加しました。



▲山崎正子さん



▲生田目栄子さん



▲有限会社菊池自動車整備工場



▲特別養護老人ホームみのり園

来年の夏は、皆さんも緑のカーテン作りにチャレンジ!!

○緑のカーテンコンテスト入賞

- ・山崎 正子（下村田） ・生田目 栄子（石沢）
- ・有限会社菊池自動車整備工場（野中町）
- ・特別養護老人ホームみのり園（鷹巣）

○市内参加小・中学校

- ・上野小学校 ・大宮西小学校 ・大宮北小学校
- ・山方南小学校 ・美和小学校
- ・第二中学校 ・明峰中学校 ・御前山中学校



■問い合わせ■

・環境課 環境推進グループ ☎52-1111（内線123）

・各総合支所 市民福祉課

山方 ☎57-2121 美和 ☎58-2111 緒川 ☎56-2111 御前山 ☎55-2111



野外焼却(野焼き)は法律で禁止されています

冬から春にかけては、湿度が低く空気が乾燥する上に、火気を使用する機会が多くなるため、全国的に火災が多く発生しています。

今年、本市では休耕地の枯草などが延焼する「その他火災」が、特に多く発生しました。原因としては、野外でゴミや枯草を焼却していた時に、風にあおられ周囲に延焼した事例などが多かったようです。農業・林業を営むために、やむを得ないものとして行われる焼却*以外の野外焼却(野焼き)は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で禁止されています。

やむを得ず、稲わらや伐採した枝などを野外焼却する場合は、風の向きや強さ等を考え、一度火をつけたら確実に消火が確認できるまでその場を離れない、また万が一の場合に備え、消火に十分な量の水も準備してください。

火災は、自分自身はもちろん、家族や近隣にも被害を及ぼします。日ごろから火災の怖さを意識して、自分の住む地域からは絶対に火災を出さないという強い気持ちを持って生活するよう心がけることが大切です。



※やむを得ない焼却とは…
農業者が行う稲わらなどの焼却
林業者が行う伐採した枝の焼却等

消防団員 募集!!

～大切なまちや家族を守りたい想いはひとつ～ 「あなたも一緒にかけがえのないものを守りませんか」

市消防団では、消防団員を募集中。男性団員はもちろん女性団員も募集しています。一人ひとりが、それぞれの仕事を持ちながら“自分たちのまちは、自分たちの手で守る”という信念のもと、日々様々な活動をしています。あなたにもできることがきっとあるはずです。

あなたのチカラを消防団で活かしてみませんか。

○入団資格

①年齢18歳以上の方(男女) ②心身ともに健康な方 ③市内に居住または勤務する方

○入団方法

自身の居住または勤務地域の消防分団に直接連絡していただくか、問い合わせ先までご連絡ください。



■問い合わせ■ 消防本部総務課 地域消防グループ ☎53-1152

今月の 耳より情報 を募集します

1月号の情報を大募集!!

1月号のテーマは、「残したい伝えたい伝統文化」です。次の世代に伝えていきたい伝統文化についてご意見や感想などをお寄せください。12月20日(火)までに、郵便またはファックス、Eメールでお送りください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課
☎52-1111(内線312)
〒319-2292 常陸大宮市中富町3135-6
Eメールアドレス
→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

QRコードからの投稿はこちら→



ひたまるがゆく

10月7日、道の駅常陸大宮かわプラザで行われた、「全国地域安全運動キャンペーン」に参加してきました。今回は、県警察本部から駆けつけてくれた、「ひばりくん」と一緒に道の駅を訪れた人に、安全運動啓発のグッズを配布。

秋から冬にかけて、日没が日に日に早まるこの季節、夕暮れ時（16時～18時）は特に交通事故等に注意!!みんなの交通安全を願いつつ、自分も気をつけなくちゃと、気を引き締めるひたまるでした。



▲ひばりくんと交通安全運動キャンペーンに参加しました

スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.27

文部科学省の体力・スポーツに関する世論調査では、「過去1年間に取り組んだスポーツの種目」として、ウォーキング50.8%、体操30.8%、ボウリング12.7%、ランニング12.7%という結果が出ました。「今後やりたいスポーツ」については、ウォーキング53.9%、体操30.4%、水泳20.6%、ランニング15%との回答でした。スポーツ愛好家というと、野球やサッカー、バレーボールなどチームに所属している人を想像しますが、実際には、個人でスポーツに取り組んでいる人口が圧倒的に多いことがわかります。また、運動不足を感じている人が74.6%もいるそうです。



スポーツクラブひたまる25では、これらの調査結果に基づいて、ノルディックウォーキングやハイキング、ピラティス等のエクササイズ教室を中心に、市民の皆さんにスポーツの場を提供できるよう取り組んでいきます。

■問い合わせ■ スポーツクラブひたまる25事務局 ☎55-9666 FAX 55-9667
生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111 (内線342、343)

リュウノウギク



(キク科キク属)

御前山ビオトープ周辺の植物等

日本特産で、関東以南の本州や四国、九州に分布します。日当たりのよい丘陵や山地に生える多年草で、高さは40～80cmほどです。茎は細く、葉は3～8cmで3つに裂けています。自生している野菊の中では花の時期が遅く、10～11月頃に白い花、ときに淡紅色の花を咲かせます。名前は、茎や葉をもむと竜腦のような香りがすることに由来しています。これは日本に自生するキク属植物の多くに共通する香りです。

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

常陸大宮市の人口

(11月1日現在・推計常住者)

総人口 41,965人

(男 20,675人 女 21,290人)

世帯数 16,071世帯



Twitter 常陸大宮市
@hitachiomiya HITACHIOMIYA

QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 11月 第146号

発行日 平成28年11月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

